学校番号	1205

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	(学) プログラミング	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・フローチャートを用いてアルゴリズムの作成を理解し、その基礎を元に言語を用いたプログラミングを学習します。さらにＷｅｂページ作成を学習し、ブラウザで実行できるプログラムを学習します。
・授業毎にプリント、作成データなどの成果物等を提出してもらいます。返却されたプリント等はファイルに綴じて管理してください。
・授業プリントについては板書を書き写すだけでなく、授業のポイントや自身で気づいたこと、他の受講者が発言した内容なども記入していきましょう。
・定期的にファイルを提出してもらいます。
・グループで他者と協力して課題に取り組む活動もあります。自分の意見や友達の意見を大切にし、積極的に授業に参加してください。
・ＬＡＮ教室を使用する際の注意事項など、説明をよく聞き、ルールを守りましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
アルゴリズムの基礎知識を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
順次、繰り返し、選択の３つを用いたプログラミングが言語で出来、データに応じて画像を処理できる。
【学びに向かう力、人間性等】
自分自身が情報社会への参加することについて考え、情報技術を身につけようと研鑽を重ねる態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プログラミングするにあたって必要となるプログラミング言語やソフトウェアの操作方法について理解し、身につけている。	一般的なプログラミングのルールを理解している。 プログラミングの際に著作権をはじめ、モラルを理解して課題に取り組むことができる。	課題に積極的に取り組み、こなすことができる。 班活動などでは進んで役割を果たすことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	アルゴリズム	フローチャートを用いてプログラミングを行い、アルゴリズムとプログラムの違いについて学ぶ。	a:フローチャートについて理解し、身につけている。 b:フローチャートを活用して、目的とするアルゴリズムの処理や体裁を考え、判断し、表現することができる。 c:課題解決に積極的に取り組み、自ら評価し、改善に向けて取り組むことができる。	確認テスト プリント PC 課題	プリント PC 課題	観察 課題取組
2学期	言語を用いたプログラミング	アルゴリズムを丁寧に作成し、プログラム言語を用いたプログラミングを学習する。 同じ動きをするプログラムでもプログラミング言語が異なると書き方が変わることを学習する。	a:プログラミング言語を用いたプログラミングについて、より適切な方法を考え身につけている。 b:同じ動きをするプログラムでもプログラミング言語が異なると書き方が変わることを理解し、言語によって表現を変えることができる。 c:課題解決に積極的に取り組み、自ら評価し、改善に向けて取り組むことができる。	確認テスト プリント PC 課題	プリント PC 課題	観察 課題取組
3学期	プログラミング作成	複数の言語のプログラミングを学ぶ。 テーマに沿った自らイメージしたものを作成する。	a:複数のプログラミング言語を身につけ、プログラムを作成することができる。 b:学習した内容を活用し、テーマに沿った内容を考え、適切に表現することができる。 c:課題解決に積極的に取り組み、自ら評価し、改善に向けて取り組むことができる。班活動などで進んで役割を果たすことができる。	確認テスト プリント PC 課題	プリント PC 課題	観察 課題取組

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度